

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2025年 4 月22日 |
| 【会社名】 | 株式会社プロネクス |
| 【英訳名】 | PRONEXUS INC. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 上野 剛史 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区海岸一丁目 2 番20号 |
| 【電話番号】 | (0 3) 5 7 7 7 - 3 1 1 1 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務執行役員 経営企画管理部長 兼 社長室長 高松 純 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区海岸一丁目 2 番20号 |
| 【電話番号】 | (0 3) 5 7 7 7 - 3 1 1 1 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務執行役員 経営企画管理部長 兼 社長室長 高松 純 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社プロネクス大阪支店 (大阪市中央区北浜一丁目 8 番16号) 株式会社プロネクス名古屋支店 (名古屋市中区栄三丁目 8 番20号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) |

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

のれんの減損損失及び関係会社株式評価損について

(1) 当該事象の発生年月日

2025年4月21日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、連結子会社である株式会社シネ・フォーカスのイベント関連事業のアフターコロナにおける回復が想定よりも遅れていることや、長期金利上昇を受けた割引率の上昇により、当該会社及び当時の親会社であった株式会社シネ・ホールディングスの株式取得時に発生したのれんについて、国際会計基準（IFRS）に基づき減損テストを実施した結果、2025年3月期の連結決算において25億円の減損損失を計上する見込みとなりました。また、のれんの減損損失の計上に伴い、当社が保有するシネ・フォーカス株式について関係会社株式評価損として23億円を単体決算の特別損失として計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結決算への影響はございません。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、2025年3月期において、連結決算でその他の費用25億円、単体決算で関係会社株式評価損23億円をそれぞれ計上する見込みです。

以 上